

自衛消防訓練通知書

年 月 日

苫小牧市消防長 様

届出者

住 所

(法人の場合は、名称及び代表者氏名又は防火管理者氏名)

氏 名

下記のとおり、自衛消防訓練を計画したので通知します。

記

防火対象物	所在地				
	名称		用途		
	担当者	氏名	TEL		
訓練	実施日時	年 月 日 時 分～	参加人員	人	
	訓練種別	<input type="checkbox"/> 消火訓練 <input type="checkbox"/> 避難訓練 <input type="checkbox"/> 通報訓練 (<input type="checkbox"/> 火災通報装置 <input type="checkbox"/> 模擬 <input type="checkbox"/> その他) <input type="checkbox"/> 海溝型地震に係る防災訓練 <input type="checkbox"/> 防災管理に係る避難訓練			
	立ち合い	<input type="checkbox"/> 消防職員※ ¹ <input type="checkbox"/> 消防設備業者 () <input type="checkbox"/> なし			
	借用物品	種別※ ²	<input type="checkbox"/> 訓練用標的 <input type="checkbox"/> 訓練用水消火器 (本) <input type="checkbox"/> なし		
		期間	年 月 日 時 分～	年 月 日 時 分	
実施要領					

備考

1 注意事項

※1 消防職員の立会いをご希望される場合は、依頼される内容をご相談ください。業務上の都合によりご希望に添えない場合や災害対応等により中止になることがあります。

※2 貸し出しの限度は、標的1個、水消火器3本ですが、ご希望に添えない場合があります。

2 提出先

・消防本部予防室(新開町)・消防署(新開町)・出張所(末広・沼ノ端・日新・新富・錦岡)

※事業所の用途や規模等により、提出先が異なります。

3 問い合わせ先：消防本部予防室 0144-84-5031

自衛消防訓練通知書

令和 6 年 3 月 12 日

苫小牧市消防長 様

届出者

住所 苫小牧市新開町 2 丁目 1 2 番 7 号

(法人の場合は、名称及び代表者氏名又は防火管理者氏名)

氏名 苫小牧市消防本部

防火(防災)管理者 ●●●●

下記のとおり、自衛消防訓練を計画したので通知します。

記

防火対象物	所在地	苫小牧市 ▼▼町 ▼丁目 ▼番 ▼号		
	名称	○○○ビル	用途	飲食店
	担当者	氏名 ■ ■ ■ ■	TEL	0144-※※-※※※※
訓練	実施日時	令和 6 年 3 月 22 日 13 時 30 分 ~	参加人員	30 人
	訓練種別	<input checked="" type="checkbox"/> 消火訓練 <input checked="" type="checkbox"/> 避難訓練 <input checked="" type="checkbox"/> 通報訓練 (<input type="checkbox"/> 火災通報装置 <input checked="" type="checkbox"/> 模擬 <input type="checkbox"/> その他) <input type="checkbox"/> 海溝型地震に係る防災訓練 <input type="checkbox"/> 防災管理に係る避難訓練		
	立ち合い	<input type="checkbox"/> 消防職員*1 <input checked="" type="checkbox"/> 消防設備業者 (▲▲株式会社) <input type="checkbox"/> なし		
	借用物品	種別 ※2	<input type="checkbox"/> 訓練用標的 <input checked="" type="checkbox"/> 訓練用水消火器 (3 本) <input type="checkbox"/> なし	
	期間	令和 6 年 3 月 22 日 10 時 00 分 ~ 令和 6 年 3 月 22 日 16 時 00 分		
	実施要領	<p>想定を「深夜 1 時、1 階ボイラー室から出火」とし、次のとおり実施する。</p> <p>1 初期消火担当～消火設備(消火器等)の位置把握・取扱方法を習熟する。</p> <p>2 連絡通報担当～警報設備(自動火災報知設備等)の位置把握・取扱方法を習熟し、通報訓練は、実際には 119 番へ通報をしない模擬通報訓練(「火災時における模擬通報訓練(例)」を参考)とし、従業員を通報者、店舗責任者を消防機関役として内線電話を使用し実施する。</p> <p>3 避難誘導担当～避難経路等(避難設備含む)の位置を把握し、避難器具の取扱方法を習熟するとともに、適切な避難誘導を実践する。</p> <p>※ 別紙として作成したものを添付しても結構です。</p>		

該当する項目の
□印に✓を入れる

※詳細下記

「訓練種別」について

- 通常火災を想定した一連の訓練の場合は【消火訓練・避難訓練・通報訓練】となります。
- 海溝型地震による 30cm 以上の津波浸水地域にある事業所等が、大規模地震を想定した訓練を実施する場合は【海溝型地震に係る防災訓練】の□印に✓してください。
- 消防法第 36 条に規定する防災管理に係る訓練を実施する場合は【防災管理に係る避難訓練】の□印に✓してください。

通報訓練の記載方法・留意事項

自衛消防訓練通知書			
年 月 日			
苫小牧市消防長 様			
届出者			
		住所	
<small>(法人の場合は、名称及び代表者氏名又は防火管理者氏名)</small>			
		氏名	
下記のとおり、自衛消防訓練を計画したので通知します。			
記			
防火対象物	所在地		
	名称	用途	
	担当者 氏名	TEL	
訓練	実施日時	年 月 日 時 分～	参加人員 人
	訓練種別	<input type="checkbox"/> 消火訓練 <input type="checkbox"/> 避難訓練 <input checked="" type="checkbox"/> 通報訓練 (<input type="checkbox"/> 火災通報装置 <input type="checkbox"/> 模擬 <input type="checkbox"/> その他) <input type="checkbox"/> 海溝型地震に係る防災訓練 <input type="checkbox"/> 防災管理に係る避難訓練	
	立ち合い	<input type="checkbox"/> 消防職員※1 <input type="checkbox"/> 消防設備業者 () <input type="checkbox"/> なし	
	借用物品	種別※2	<input type="checkbox"/> 訓練用標的 <input type="checkbox"/> 訓練用水消火器 (本) <input type="checkbox"/> なし
期間		年 月 日 時 分～	年 月 日 時 分
実施要領			

通報訓練を実施する場合は、() 内の該当する内容の□にチェックしてください。

【火災通報装置】

主にホテル、病院、福祉施設などに設置されている非常用の通報装置を使用する通報訓練です。

【模擬】

実際には消防機関(119番)通報しない方法であり、事業所の実態や訓練内容に合わせて事業所内で完結する模擬通報訓練です。

「火災時における模擬通報訓練の例」を参考にご覧ください。

【その他】

上記以外の通報訓練です。実際に電話から消防機関(119番)通報する場合があります。具体的な内容(使用する電話種別等)は実施要領に記載してください。

また、119番に通報する際には、冒頭に【訓練通報】と伝えてください。

火災時における模擬通報訓練(例)

参 考

No.	通 報 者	消 防 機 関
1	【行動】「119」通報をする	
		消防署 119 番です 火事ですか 救急ですか
2	訓練通報、火事です	
		住所と事業所名を教えてください
3	()町()丁目()番()号 () <small style="margin-left: 150px;">事業所名</small> です	
4	目標は、()近くに()があります	
		何が燃えていますか
5	()階建ての建物の()階の()室で()が燃えています	
		あなたは安全な場所にいますか 危険な場合は避難してください
6	安全な場所にいます	
		逃げ遅れは何名いますか
7	()階に逃げ遅れが()名います	
		あなたの名前と今お使いの電話番号を教えてください
8	名前は()で、電話番号()です	
		消防車が向かいますのでお待ちください
9	わかりました	

【 重 要 ポ イ ン ト 】

※ 模擬通報訓練は、消防機関(119番)に通報せず、事業所内で完結する模擬的な通報訓練です。
従業員を通報者、店舗責任者を消防機関役として内線電話などを使用してください。
「消防機関」から聞かれた内容に「通報者」が答えるという流れで進めましょう。早口にならないように注意してください。

- 1 誤って警察署への通報する事例が多いです。確実に「① ① ⑨」に電話しましょう。市外局番は不要です。
- 2 最初に火災が発生していることを伝えてください。
- 3 消防車の到着を早めるために、電話付近に住所を明示し正確な住所を伝えてください。
- 4 近くの大きな建物(学校等)、コンビニ、公園などを目標として、説明できるようにしましょう。
- 5 具体的に「建物の階数」と「出火場所」を伝えてください。わからない場合は「不明」・「調査中」と伝えてください。
- 6 通報中に延焼が拡大し、身の危険を感じたら避難を優先してください。
- 7 救出を早めるため、逃げ遅れ情報(人数・居所)や負傷者の有無などを具体的に伝えて下さい。
- 8 通報に使用中の電話番号を正確に伝えてください。その後の状況を確認するため連絡する場合があります。
- 9 避難後は、出火建物内へ絶対に戻らないこと。消防車の到着を待ち、逃げ遅れ情報を伝えて下さい。

